

社会人1年目に知りたかった

# これだけで評価が変わる

# 大人の英語

執筆: マヤ・バーダマン

新年度になり、外資系の企業あるいは英語を使う会社へ就職・転職したり、英語を話す外国人が多い部署に異動される方。漠然とした不安を感じている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

実際、「この言い回しが実は失礼だったと気づいて衝撃だった」「失礼のないビジネスに適した英語をもっと早く知っていた」という声も聞きます。

そのような方にお伝えしたいのは、ビジネスでは決まった言い回しが多く、難しい単語を覚える必要はないということです。ただし、「伝わればいい」「ストレートに言えばいい」「英語に敬語はないのでフラットに話してよい」というのは誤りです。仕事では謝罪をしたり、言いにくいことと言ふ必要のある場面もあり、その伝え方は信頼関係に影響します。

また、日本語の表現をそのまま英語に直訳したり、日本語の感覚で表現したりしてしまうと、誤解や混乱、不安を生じさせてしまうことがあります。日本語と英語の表現が必ずし

も one-to-one (一対一の同じ意味や対応している表現) になるとは限りません。この特集の日本語訳も、直訳だと不自然ですので、意訳を記載しています。

読者の皆様がこの春から自信を持ってコミュニケーションするためのツールとなる英語表現を4段階 (Avoid ~ Better) でご紹介しています。気持ちが通って気配りの伝わる表現で仕事がスムーズに進み、人間関係もさらに良い方向に進むことを願っています。

4  
段階  
で  
評  
価

Avoid  
OK  
Good  
Better



# DLI 自己紹介・あいさつ・応答編

音声はアプリ・リスニングトレーナーでダウンロードできます。アプリのダウンロード方法はp.7をご参照ください。



第一印象は最初の数秒で決まると言われていますが、自己紹介やあいさつはそれを決定づける重要な場面です。決まった表現が多いので、バリエーションをたくさん覚えるというよりは、基本のフレーズとマナーをつかめば十分です。また、第一印象を良くするために、顔の表情やオープンなボディランゲージも意識したいところです。

## 竹内佑介と申します

**Good 1** Hi. I'm Yusuke Takeuchi.

**Good 2** My name is Yusuke Takeuchi./I'm Yusuke Takeuchi.

**Better** Hello. I'm Yusuke Takeuchi.

たまに「(ネイティブは)英語でMy name is...は言わない」と聞かれますが、実際には言いますし、ビジネスやフォーマルな場面では特に耳にするでしょう。直訳すると「私の名前は～」になりますが、ニュアンスとしては「[名前]です」「[名前]と申します」に近いです。カジュアルな場面ではMy name's John.などとname isを短縮して使うこともあります。HiやHi, everyoneも問題ありませんが、ややフレンドリーな印象です。

厳密なルールはありませんが、フォーマルな場面ではよくMy name is Naoko Kawamura, and I am a research analyst at...のように言います。自己紹介や会話の流れで既に名前を述べたり紹介されたりしているときや、相手が既に名前を知っている場合はI'm Naoko.が自然でしょう。

さらに、名乗った後は次に紹介するような表現を添えると堅苦しくならず、親しみやすさが加わります。

## 本日からお世話になります。

よろしくお願いいたします

**Avoid** Thank you.

**Good 1** I look forward to working with you.

**Good 2** I'm pleased to meet you.

英語には「お世話になります」や「よろしくお願いいたします」に直接対応する言葉がないので、場面に合わせて適した表現を選びます。言うことが思い浮かばず、とりあえずThank you.で終わる方がいます。間違いではないのですが、名乗った後にいきなりお礼を述べるのはやや不自然です。**Good 1**の例は「一緒にお仕事ができるのを楽しみにしております」の

意味で、「以後よろしく願っています」のニュアンスで使えます。**Good 2**の例は「お会いできてうれしいです」の意味で、相手が一人または少人数の場面に適しています。

## 未熟者ですが、ご指導願っています

**Avoid** I don't have much experience, so please teach me.

**Good** I'm still new, but I hope to learn quickly and contribute to the team.

**Better** I'm happy to be a part of this team and am looking forward to working with you.

**Avoid**の例は、「あまり経験がないので、いろいろと教えてください」という意味ですが、英語ではこのような場面ではポジティブに表現する方が自然で良い印象を与えます。日本語では「未熟者ですが」や「不勉強ですが」とへりくだって言うのは自然なことかもしれませんが、文化的な違いから英語では、前向きに「チームメンバーとして貢献したい」や「一緒に仕事をするのが楽しみ」という気持ちを表現します。さらに、Please teach me. (教えてください)は、相手に負担をかける可能性もあります。

ご提案したいのは、**Good**のように、「まだ新人(入ったばかり)ですが、早く仕事を学んでチームに貢献したいと思えます」と、前向きで自ら進んで学びたいという前向きな姿勢が伝わる表現です。また、**Better**では、「このチームの一員になれるのはうれしいです。お仕事で一緒にできるのを楽しみにしております」というポジティブな印象になります。

## ちなみに外部の人に向けた自己紹介はどうすればいいの？

**Avoid** How do you do? I'm from Asahi Press, and I work in the Marketing Department. My name is Yusuke Takeuchi.